

# カリセン

つうしん  
通信 NO.120

## 京都市総合教育センター カリキュラム開発支援センター

子どもに届く確かな授業をめざして！  
明日の授業づくりをサポートします



令和5年5月号

風薫る五月。児童生徒が、心地よく学習を進められるように、準備を計画的に。

### 「KYOTO×教育 DX ビジョン」を支援する

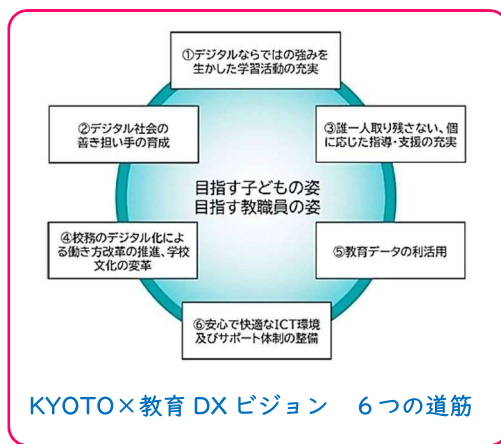
カリセンでは昨年度、GIGA スクール構想「充実期」の取組として、各学校園への訪問による児童・生徒の授業支援や教職員への研修、また、総合教育センターでの研修、さらには、「KYOTO 教育 DX スタジオ」を活用しての研修動画作成・編集など、さまざまな支援を行ってきました。

各学校園でも一人一台端末を文房具として、より日常的・主体的で効果的な活用となるよう創意工夫ある教育実践を積み重ねてこられ、一定の成果が見られました。

次のフェーズにあたる令和5～7年度の3年間、本市学校教育において、特に教育の情報化の観点から目指す姿や取組の道筋を全ての教職員と教育委員会が共有するための指針「KYOTO×教育 DX ビジョン」が策定され、目指す子どもと教職員の姿の実現に向けて「6つの道筋」が示されました。その中で、「これから変化の激しい中でも、新しい時代の教育の創造に向け、学校ならではの直接体験を伴う集団の中での学びと、ICT を効果的に活用した学びを組み合わせながら、本市学校教育の一層の充実に取り組んでいく」とされています。



学校の特色に応じて端末の効果的な活用を進めている京都市立美術工芸高等学校



#### 「KYOTO×教育 DX 支援チーム」創設

今年度、新たに「KYOTO×教育 DX サポートチーム (DsT)」を創設しました。DX サポートチームは京都市立学校・園の DX 化推進を広く支援していきます。ICT の活用を通して児童・生徒の主体的な学びと教職員の校務の効率化を支援していきます。教員の研修等も引き続き実施します。「KYOTO×教育 DX ビジョン」実現に向けて

DX サポートチーム (DsT) の積極的な活用をお願いいたします。



教員から研修依頼を受けて (4月)

今年度、カリキュラム開発支援センターでは、それらの方針に則り、アフターGIGA

スクールの課題をどのように超えていくかを、教職員のみならずと共にご考え、支援していきます。これまでの学習の在り方や校務の在り方を変えるような発想で、今あるものを「変容」し「再定義」していこうと考えています。

カリセンは、これからの次世代カリキュラムの進め方を見据えて、最新の教育情報の収集と発信やテーマを決めた資料の公開に加えて、新しい研修形式への支援とデジタル技術の支援やコンテンツ開発の支援を通して、『KYOTO×教育 DX』の実現に向けて支援を進めます。



## 学校の端末からカリセンを活用しよう

### 「カリキュラム開発支援センター」機器利用申込みについて

5月の大型連休が明けると、総合教育センターでは、各種の研修や各研究会の会議などが増えます。

今回お伝えするのは、各学校園の管理職や教職員のみなさんが、研究会などで、会議や研修などをご担当される場合に、「教職員研修支援 SMART PORTAL」からできる、総合教育センター内各研修室の「機器利用申込みの方法」について説明いたします。

◎まず、大切なことは、各研修室で機器を利用される場合、

必ず、研修や会議を開催される前週の火曜日までにカリセンにお申し込みください。

⇒これは、利用される機器を貸し出す場合に、台数や機種を重ねる必要があるためです。

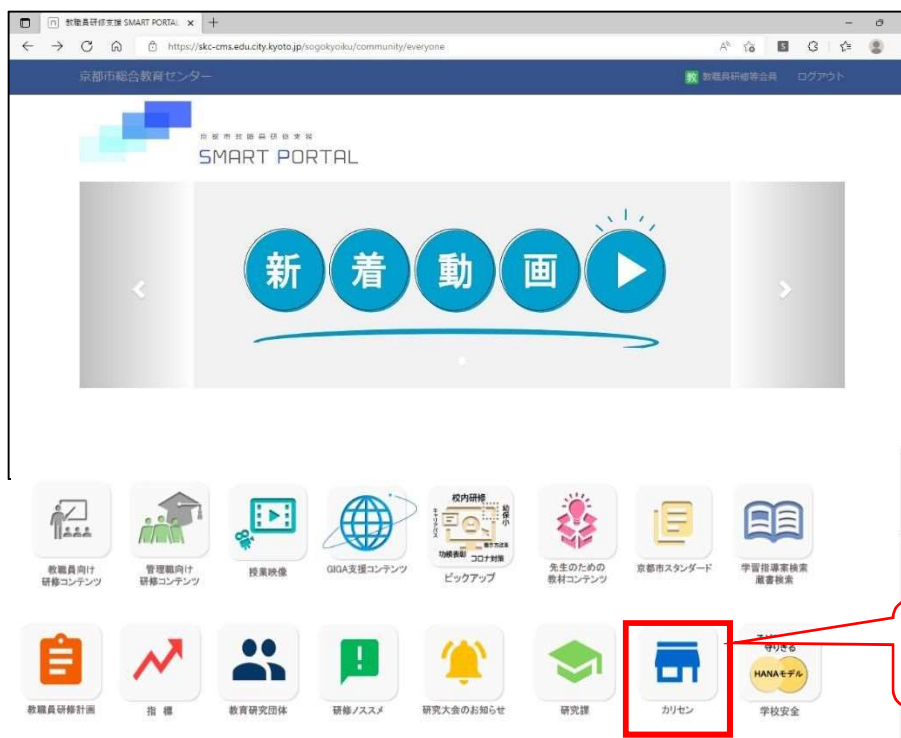
●例えば、タブレット PC の貸出希望が重なる場合があります。

そんなときは、それぞれの研修や会議がスムーズに運ぶよう、総合教育センター内のネットワークの負荷がなるべくかからないように PC の機種の特徴を考慮して貸出したり、貸出台数を調整したりします。

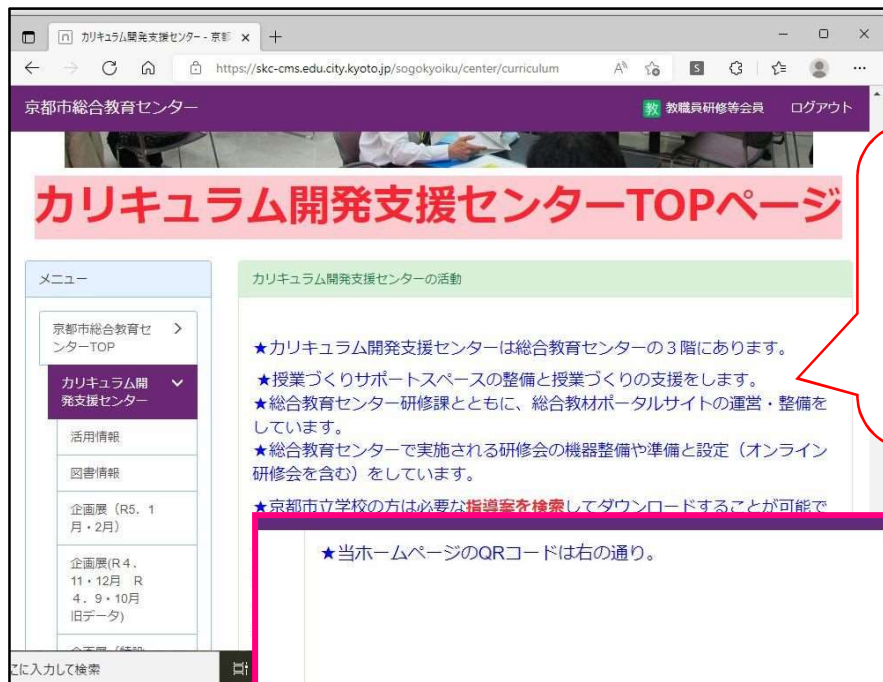
◎次に、各学校園の端末からカリセンの機器利用申込みの方法について説明します。

「京都市教育委員会行政情報ネットワークシステム」 ⇒ 「システム BOX」 ⇒

「教職員研修支援 SMART PORTAL」にアクセスします。



「カリキュラム開発支援センターTOP ページ」が開きます。



TOPページを下へスクロール。  
「機器利用申し込み受付票」をダウンロードしてください。



「機器利用申込受付票」に必要事項をご記入の上、電子メールに添付し、カリセン機器担当：若松・岩岡 まで送付してください。  
電話でも受け付けできますので、直接おかけいただいても結構です。  
☎ 075-371-2341<直通>

なお、集合とリモートを同時に行う「ハイブリッド形式」の研修や会議が行われる場合や、講義や発表を録画し記録に残したい場合など、機器利用について相談をされたい場合は、随時受け付けておりますので、遠慮なく カリセンまで、お問い合わせください。

また、研修や会議の内容あるいは利用されたい機器によっては、事前にリハーサルを行った方が良い場合もありますので、お尋ねいただきますようお願いいたします。

研修室の予約は、総合教育センター事務室までお願いします。  
☎ 075-371-2340





# 図書案内



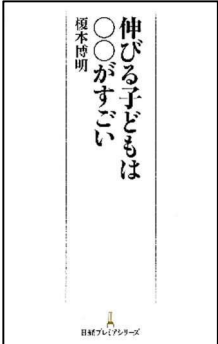
学年・学級開きをしてから1ヶ月余。子どものことが少しずつ見えてきた頃、こんな本はいかがでしょう。

## 伸びる子どもは〇〇がすごい

榎本博明：著 日経プレミアムシリーズ

我慢することができない、優先順位が決められない、すぐ感情的になる… そんな若者が増えていていると言われます。

想像力が豊かで心の折れない子を育てるために、忍耐力、協調性・自律性、自己コントロール能力などの「非認知能力」を養うことの重要性を説きます。



## 子どもの算数、なんでそうなる？

谷口 隆：著 岩波科学ライブラリー

算数で、子どもは時として突拍子もない誤答をすることがあります。しかし その裏には…

我が子と算数を考えながら、子どもの頭の中で起こっていることを解き明かしていく中で、数学者である著者の「誤りは宝物」という言葉が印象的です。

## 5・6月の企画展

## 令和5年度 学校教育の重点 ～グランドデザイン～ 「生きる力」を育む15の取組より 1～5の取組

令和5年5月9日(火)～6月30日(金) 総合教育センター3階 エレベーターホール前

1. 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
2. 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
3. 探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現
4. グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
5. LD等支援の必要な子どもの学力向上

※ 6～10の取組は7・8月に、11～15の取組は9・10月に展示します。

壬生狂言  
「炮烙割」  
(壬生寺)



## 特設展 「京都を学ぶ」

～「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子どもの育成」をめざして～

同時開催しています！



大原女時代行列  
(寂光院～勝林院)

■カリセン開室時間(通常)

※令和5年4月より、開室時間に変更になりました。

月曜日～金曜日…午前9時～午後8時15分 (第1月曜日と毎週木曜日は午後5時15分まで)

土曜日…午前9時～午後5時

5・6月の土曜開室日: 5/13、27 6/10、24